

令和6年度

幼稚園経営方針

渋谷区千駄谷なかよし園
渋谷区立千駄谷幼稚園
園長 中野 有一郎

I 目指す子供像

＜本園の教育目標＞

「生きる力の基礎」を培い、心身ともに健康で人間性豊かな幼児を目指し、
「夢を感じ、夢がもてる子」を育成する。

そのために、

- 思いやりのある子
- よく考え、やり遂げる子
- 健康でたくましい子

の育成に向けた教育活動を行う。

II 目指すなかよし園像

みんな笑顔のなかよし園

- ◎ 一人一人が主役である幼稚園
- ◎ 保護者や地域から信頼される幼稚園

＜基本的な考え方＞

【子供の成長を支える教職員】

- ・すべての教職員が、多様性を尊重し、すべての子供を見守り理解していく。
- ・子供一人一人のよさを知り、一人一人を大切にす。
- ・子供や保護者の声に気を付け、迅速、適切に対応する。

【目指す教育活動を展開するための環境と施設管理】

- ・子供の生命や健康を第一に、いつも安全な施設環境を保つ。
- ・清潔で美しく、感性を豊かにするよう教室環境に配慮する。
- ・挨拶や時と場に応じた言葉遣いなど、言語環境を整える。

【信頼関係に基づいた家庭・地域との連携】

- ・保護者との連携を密にし、協力を得て保育を行う。
- ・きめ細やかな対応と、情報発信に努める。
- ・保護者や地域が参加する行事を工夫して行う。

III 経営の基本方針

～目指す子供像・目指す幼稚園像を実現させるための具体的方策～

- ◎ 子供の人権の尊重と自己実現を基盤として、「渋谷区就学前教育プログラム」に基づき、発達や学びの連続性を踏まえながら、人や自然とのかかわりを大切にし、各学年の指導にあたる。

一人一人の子供へ

- ① 命をはぐくみ、自分も友達も大切に育つ優しい心を育てる。
 - ・一人一人のよさを認め、伸びようとする力を引き出す指導に努め、その子らしさを安心して発揮できる教育環境をつくる。
 - ・保育園舎の乳児と幼児、幼稚園舎の3歳児及び小学生など異年齢児と積極的に関わらせて、多くの人との交流を楽しむことで、思いやりの心を育てていく。
 - ・あいさつの大切さを指導し、明るく元気なあいさつができるようにする。
- ② 様々な体験や人との交流を通して、自らすすんで行動しようとする態度を育てる。
 - ・自分のことは自分でしていくことで自立する心を育て、何でもやってみようと挑戦する積極性を育てる。
 - ・体験活動や遊びを通して、集団の中で自己を表現し、互いのよさを認め合いながら力を合わせて生活できるようにする。
 - ・栽培などの体験活動を通して、命や自然を大切に育つ心とともに、自然の不思議さを感じさせ、好奇心や探究心を養っていく。
 - ・遊びや生活の中で、ともに行動する時には守るべき基本的なきまりがあることに気付かせ、楽しく遊んだり生活したりする方法を学ばせる。
- ③ 心も体もしなやかにたくましく生きる力を育てる
 - ・走ったり、跳んだり、体を動かす遊びや活動を積極的に取り入れ、バランスのよい発達を促し、健康な身体をつくるとともに自分の体について自覚できるようにする。
 - ・早寝、早起き、排便等を大切に、家庭と協力しながら、園の生活と合わせて生活リズムを身に付けることができるようにする。
 - ・音楽的活動、読み聞かせ、絵画活動、造形活動などを通して、豊かな感性をはぐくむ。

施設環境

- ① 併設園の利点を生かし、小学校の広い校庭や体育館、プールを使つての運動や遊びを通して身体機能のよりよい発達を促す。
- ② 芝生の園庭を利用した運動遊びや植物栽培、野菜栽培を通して、自然に親しみ、生命を慈しむ機会を大切に、豊かな心をはぐくむ。
- ③ 小学校との交流や小学校の行事への参加および見学等を通して多くの小学生や職員とのかかわりをもち、小学校生活への期待をはぐくむ。
※小学校中学年・高学年との交流及び 幼児、小学生の共同制作の実施
- ④ 原宿外苑中学校の職場体験に協力するとともに、園外保育の場の一つとして中学校との連携を図る。

保護者や地域社会

- ① 地域の中で育てられている千駄谷なかよし園であることの自覚をもち、ここで生まれ、育ち、暮らし、地域の文化を引き継いでいく子供たちを育てていることの意義をとらえて、地域に根ざした教育を推進する。
- ② 保護者や地域との連携を深め、理解と協力が得られるように幼稚園に対する願いや思いに応えられるように努める。

- ③ 子供同士のつながりを広げるとともに、保護者同士のつながり、保護者と地域とのつながりも広げ、子供は家庭、幼稚園、地域で育つという共通認識をもつ。
- ④ 近隣の様々な機関や施設との連携を図るとともに、地域の人材を活用し、多様な分野で専門性の高い教育活動を行う。

組織的・計画的な取組

- ① 教職員一人一人が教育公務員としての自覚をもち、教育目標を理解し、組織的で計画的な教育活動を推進することで、幼稚園経営方針の具現化を図る。
- ② 5歳児と4歳児および3歳児学級の情報を常に交換し、学級相互で状況を正確に把握することで、一貫性のある保育を行う。
- ③ 園での生活を安全に送ることができるように保育園舎及び小学校と連絡・報告・相談を密に行い、感染症対策、交通事故防止、不審者対応、災害対応、食物アレルギー対応などの危機管理を徹底する。
- ④ 幼稚園教諭と保育士の専門性を十分生かし、就学前教育が適切に進められるように、園児の育ちの連続性と発達段階に応じた保育実践及び研修と研究を積み重ねていく。

今年度の重点

- ☆ 健康教育の推進
(健康保持、体力づくり、けがの防止)
- ☆ 保育の充実「めあてをもって主体的に遊ぶ子供」
(環境構成や支援、声掛けの工夫)
- ☆ なかよし園や千駄ヶ谷への愛着の育成
地域とともに歩む園づくり



IV 終わりに

千駄谷なかよし園は、これまでの約10年間、幼稚園教諭と保育士が協力、連携して保育に取り組み、幼保一元化施設としての成果を上げ、保護者や地域等の信頼を得てきました。今後も、幼稚園教育と保育の一元化をよりよく推進するために、様々な課題の解決に努め、保護者のニーズにも応えながら幼児教育を推進していきます。全教職員が多様性を尊重しつつ、積極的にコミュニケーションを図ることで温かで風通しのよい雰囲気をつくり、「みんな笑顔のなかよし園」を目指し、教育内容を充実させていきます。

本園は、幼稚園として、50年以上の歴史があり、地域とともに歩んできた園です。地域への愛着を一層育み、地域とともに子供を育てる園、地域とともに歩む園づくりを行ってまいります。

また、今年度は、昨年度に引き続き重点としてきた小学校との連携について、さらに拡大発展を図ります。0歳児から12歳児までの作品及び共同作品を制作・展示する「千駄谷展覧会」を行います。